

昭和47年度 和歌山県文化功労賞

なか むら とも あき
中 村 具 嗣 (号 知秋 又は 源具嗣)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治39年

◎業績及び経歴

大正12年頃作歌の道に入ってより50年、一貫して作歌の道にたゆまぬ精進を続けられるとともに、短歌の制作、鑑賞の普及向上に専念され、常に率先して同好者多数を指導育成されてきている。

特に昭和12年4月、有志とともに竹垣詩社を結成、以来その主宰として現在まで35年間短歌雑誌「竹垣」を刊行され続けていることはつとに有名であり、会員も県下全域は勿論他府県にも及んでいる。

また昭和23年より和歌山新聞、続いて同26年からは毎日新聞、同28年からサンケイ新聞の歌壇の選者として適格な指導を続けられ、本県歌壇の振興に格段の貢献をされているが、昭和45年には和歌山県歌人クラブの代表として斯界の連絡指導に尽力されたほか、同46年和歌山文化協会副会長、さらには和歌山県文化協会連合会理事、和歌山県民文化会館運営委員として本県文化の振興に多大の寄与をされている。